

宗岡二中だより 8・9月



令和4年8月29日

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒



防災週間

校長 中平 仁

夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。お陰様でこの夏休み中に、本校の生徒が大きなトラブルや事故などに遭ったという報告もなく、始業式に元気な姿が戻ってきました。こうして無事に夏休みを終えることができたのも家庭のご協力によるものと感謝申し上げます。

さて、地球規模での環境の変化が原因でしょうか。関東地方は猛暑日が過去最高に多い夏となりました。一方、北日本、北陸の各地方では、大雨による大きな自然災害が出てしまいました。特に、大雨など、今後、9月にかけては台風の季節となりますが、毎年のように「これまで経験したことのない」という言葉が聞かれるようになっていきます。これ以上大きな被害が出ないことを祈るばかりです。被災された皆様には、謹んでお見舞いを申し上げます。

9月1日は「防災の日」であることは多くの人が知っているかと思いますが、今年は8月30日から9月5日まで「防災週間」となります。昭和57年から、9月1日の防災の日を含む一週間を防災週間と定められました。防災の日に関連したことですが、古来わが国では、二百十日は暦の上で雑節の一つとして、立春から数えて210日目の日で、太陽暦では9月1日ころにあたり、220日目の二百二十日とともに、台風が来襲する厄日とされています。それはちょうどこの時期が稲の開花期にあたり(最近稲が改良されたことにより開花期が早いものもある)、台風が来襲すると稲作に大きな損害を被ることを警戒する目印にした日とも考えられます。

統計的にはこの日、特に台風が来襲しやすいというわけではなく、台風期を控えての警戒期と考えられます。令和元年の台風19号は東日本を中心に大きな被害を出しました。志木市でも、水害に備え市内の学校が避難所となりました。調べてみると明治45年8月に数日間にわたり大雨が降り、宗岡地区は水没してしまい、最高水位は8.195メートルにも達したそうです。(志木市郷土資料館に「最高水位表示板」があります。)ご家庭でも志木市ハザードマップ等を活用しながら、安全について話し合いをしていただきたいと思います。また、万が一の際に、皆があわてずに助けあえるように、また、地域に暮らす子供たちや高齢者の皆さんが安全に生活できるような街になるよう願っています。



この先もしばらく残暑が続きそうです。皆様におかれましては、熱中症等、健康にはご留意いただき、2学期も引き続き、本校教育活動に、御理解、御支援のほどよろしく申し上げます。